

商品を安全に正しくお使いいただくために お取り扱いの手引き

フォノイコライザーPEQ1

<はじめに>

この度はフォノイコライザーPEQ1をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。PEQ1は、音質を重視して開発したCR型フォノイコライザーです。MCヘッドアンプや、ラジカセやミニコンボなどPHONO入力端子が装備されていない機器でレコードを再生する際に、適切な周波数特性でお聴きになることができます。本製品は、オーディオ用OPアンプや周波数補正回路の採用はもちろん、振動に強い金属製のケースや安定化回路を内蔵したACアダプターなど本製品のすべての部分に、高音質を確保するための部材・設計を採用しているのが特長。また日本国内で開発・製造しており、安心してご使用いただけます。

※本製品は、VM(デュアル・マグネット)型、MM(ムービング・マグネット)型、MC(ムービング・コイル)型のカートリッジが使用可能なレコードプレイヤーでお使いいただけます。

※本製品は、フォノイコライザーを内蔵しているレコードプレイヤーではお使いいただけません。お使いのレコードプレイヤーの仕様をご確認ください。

<フォノイコライザーPEQ1の特長>

◎本製品の特長

1 小型高性能のCR型フォノイコライザー

高性能ながら小型・薄型ですので、設置場所の心配なくよい音でのレコード鑑賞を楽しめます。

2 オーディオ用OPアンプを採用したクリアな音質

最新のICを使用した増幅・周波数補正回路の採用により、鮮明で広がりのある音質を実現しています。

3 ガンメタリック塗装された堅牢で耐久性に優れ重量のある板金ケース

丁寧にガンメタリック塗装を施した鉄製のケースですので、経年変化が少なく、長期間安心してご使用いただけます。また小型ながら適度な重量がありますので、設置場所から意図せず過度にずれてしまう心配もありません。

4 安定化回路を内蔵しノイズの少ないACアダプター

低価格ながら、ノイズ低減対策も万全です。

5 MM型・MC型両方のカートリッジ方式に対応

ふだんお使いのカートリッジをそのままご使用いただけます。

6 安心してご使用できる日本国内での開発・製造

ロットによる品質のばらつきや個体差が発生しませんので、安心してご使用いただけます。

<安全に関する注意事項>

※本製品ならびに付属のACアダプターをご使用の際は、下記について十分ご注意ください。

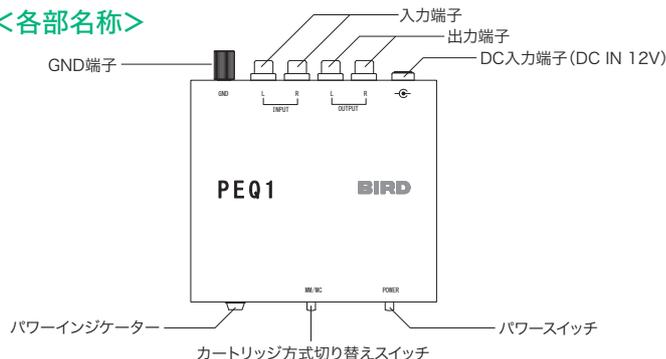
⚠警告 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う場合があります

- 分解や改造は決して行わないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- AC100V以外の電源はご使用にならないでください(日本国内でのみご使用ください)。
- 付属のACアダプター以外はご使用にならないでください。
- 濡れた手で触らないでください。
- ACアダプターやその他ケーブルを着脱する際は、コードではなく必ずプラグを掴んでください。
- ACアダプターやその他ケーブルを着脱する際は、根元まで確実に差し込んでください。
- ACアダプターやその他ケーブルは、針金などで束ねずにご使用ください。
- 布で覆ったり、他の物の下敷きにしたり、家具の中に入れてご使用にならないでください。
- プラグにたまったほこりなどは、定期的に乾いた布で拭き取ってください(ただしベンジン、シンナー、接点復活剤などの薬剤はご使用にならないでください)。
- 異音、異臭、煙などの異常が発生した場合は、直ちにアンプのボリュームを下げ、本製品とアンプの電源を切り、本製品のACアダプターを外してください。その後、お買い上げの販売店が弊社までお問い合わせください。

⚠注意 取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う、または物的損害が発生する可能性があります

- 本製品が安定する場所に設置してください。またケーブル類の重さや引き回し方にもご注意ください。
- ケーブル類は足や椅子などの脚に引っ掛かりやすい場所に垂らさないようにご注意ください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿の場所、ほこりの多い場所は避けてください。
- 長時間使用しない場合は、ACアダプターをコンセントから外してください。

<各部名称>



<ご使用方法>

※接続する前のご注意

- ◎本製品に接続するすべて機器の電源を必ずお切りください。
- ◎本製品の電源をオン/オフする前に、本製品に接続したアンプのボリュームを最小(MIN)にしてください。
- ◎本製品と各機器の入出力を間違えないように接続してください。
- ◎本製品に接続する機器の取扱説明書に記載の諸注意や使用方法を、必ずお読みください。

1 レコードプレイヤーの出力ケーブルを、本製品の入力端子(#レコードプレイヤーのアイコンのイラストを挿入)に接続する

- ◎本製品の入力端子のRに赤いプラグを、Lに白いプラグを接続します。
- ◎本製品の出力端子に接続しないようご注意ください。
- ◎プレイヤーにアース端子が装備されている場合は、本製品のGND端子(#GND端子アイコンのイラストを挿入)に接続してください。

2 本製品の出力端子(#アンプのアイコンのイラストを挿入)とアンプなどの入力端子を接続する

- ◎本製品の出力端子のRに赤いプラグを、Lに白いプラグを接続します。
- ◎アンプなどの入力端子は、PHONO以外を使用します(PHONO端子には絶対に接続しないでください)。
- ◎接続ケーブルは、お使いのアンプなどに合わせて、市販のケーブルをご用意ください。

3 本製品に付属のACアダプターのプラグをDC入力端子(#DC入力端子のアイコンのイラストを挿入)に接続する

- ◎本製品およびアンプなどの電源が切れていることを確認してから、ACアダプターを家庭用コンセント(AC100V)に差し込んでください。

4 本製品のカートリッジ方式切り替えスイッチを、ご使用になるカートリッジに合わせる

- ◎切り替えスイッチを「MM」「MC」のどちらかに合わせます。←
- ◎VM型のカートリッジをご使用の場合は、MM型に合わせてください。→

5 アンプの電源が切れておりボリュームが最小(MIN)になっていることを確認の上、本製品のパワースイッチを「ON」にする

- ◎パワーインジケータが点灯します。
- ◎パワーインジケータが点灯してから、約10秒ほどお待ちになってから、アンプの電源を入れてください(本製品が動作状態になるまで約10秒のスタンバイ時間がかかります)。

6 アンプのボリュームが最小(MIN)になっていることを確認の上、アンプの電源を入れる

- ◎アンプの電源が入ったら、レコードプレイヤーでレコードを再生し、徐々にアンプのボリュームを上げて音量を調節してください。
- ◎特に、本製品を初めてお使いの場合は、ボリュームの設定に十分お気をつけ下さい。

<ご使用上のご注意>

- ◎各ケーブルを接続する際は、プラグを確実に根元まで差し込んでください。
- ◎ノイズの発生源となる機器(モーターやトランスなど)の近くではご使用にならないでください。
- ◎汚れやほこりを拭き取る際は、必ず本製品および接続機器の電源を切り、本製品からACアダプターを外してください。
- ◎本製品のお手入れの際は、ベンジン、シンナー、接点復活剤をご使用にならないでください。